

世界史

	古代ギリシア 1	学習日 月 日	名前：
--	----------	---------	-----

自然

- ・陸は山がちで平地が少ない = 発展するのは沿岸部の狭い平地
- ・気候は夏は暑くて乾燥、冬は温暖(地中海性気候)
- 穀物生産地はナイル川下流の(1)と(2)沿岸のみ、他は石灰質で農業に向かない
- ・沿岸部はオリーブ、ぶどうなどの果樹栽培と羊の牧畜 → 穀物は輸入に依存
- 地中海で活動する民族 = ギリシア人、イタリア人 (インド=ヨーロッパ語族)
- メソポタミア・エジプト・フェニキアなどの文明・文化の影響 = オリエントの影響を引ける

エーゲ文明

エーゲ文明は青銅器文明であり、前期:クレタ文明と後期:ミケーネ文明に分かれる

① クレタ文明 (前期)

紀元前 3000 年紀はじめ、エーゲ海域にオリエントの影響を受けて青銅器文明が成立
 中心地 クレタ島の(3), 民族系統は不明、線文字 A の使用(未解読)
 宮殿は城壁を持たない(= 開放的、平和的)
 壁画やつぼ絵は海洋動物模様がが多い(= 海洋文明)
 BC2000 頃南下してきたギリシア人の第一波アカイア人(イオニア人とアイオリア人)に滅ぼされる

② ミケーネ文明(後期)

紀元前 2000 年紀はじめ、北方から(4)が本土に南下、その中のアカイア人が文明を築く
 ・BC16 世紀、ギリシア本土に(5)(6)(7)など小王国が建国される
 → インド=ヨーロッパ語族、オリエント風専制国家を建設
 → 巨石でできた城塞王宮を建設(= 戦闘的)
 ・BC15 世紀(8)王国が有力となり、クレタ島を征服
 → 小アジアにはトロヤ王国が栄えていたが、これも征服(= ギリシア戦争のトロイア戦争として伝わる)
 線文字 B の使用(解読済)
 → 解読により社会の様子がわかる : 専制的な王が農民から農産物を貢納させる(= 貢納王政)

BC1200 年頃 系統不明の(海の民)の侵入を受け、滅亡

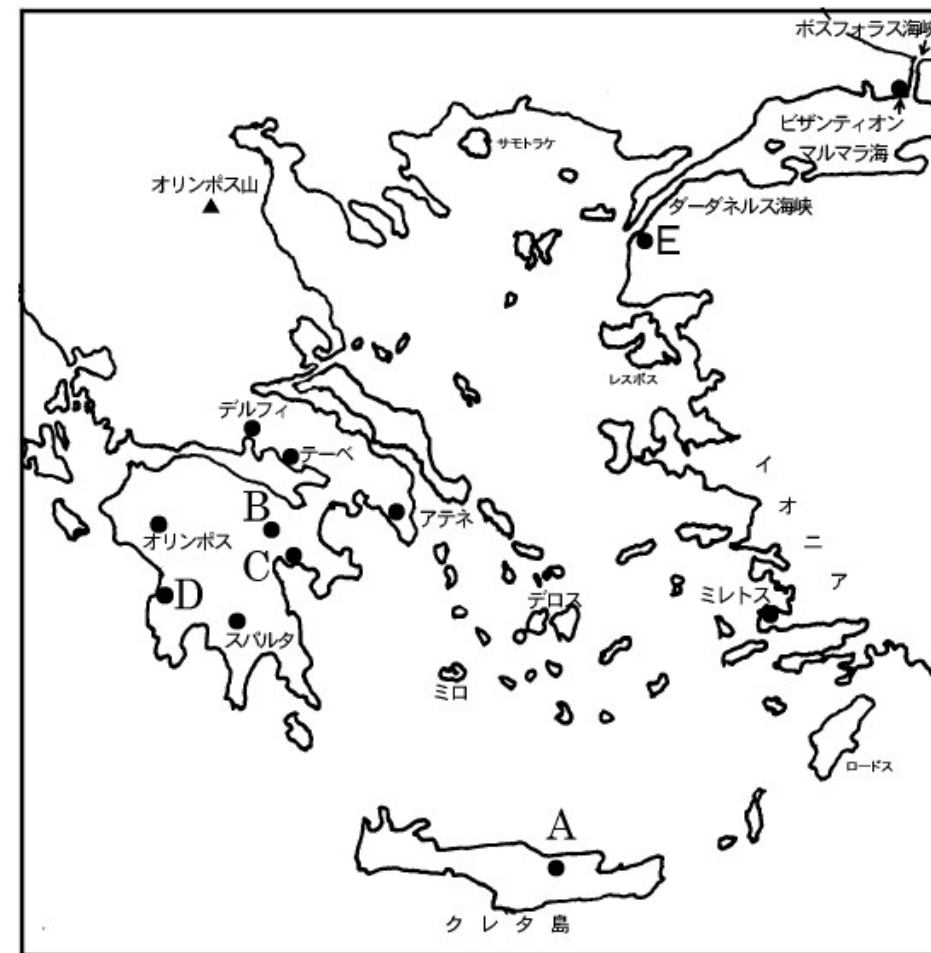
暗黒時代

- … BC1200 ころから約 400 年間混乱が続く
- ・鉄器を武器とする民族(ドーリア人)の侵入、人口が減少、線文字 B も忘れ去られる
- ・ギリシア人の分化 … (9)(10)(11)
- ※ 方言の分離により分化した

歴史的意義 … 青銅器文明であったエーゲ文明が消滅し、新たな鉄器文明であるギリシア文明に移行した

エーゲ文明の解明

- (12)… ドイツ人実業家、1870 年代にトロヤ遺跡やミケーネ遺跡(黄金のマスク)の発掘を行う
 → 『古代への情熱』、内容には近年疑問が呈されている
- (13)… イギリス人考古学者、1900 年代クノッソス遺跡を発掘
- (14)… イギリスの建築家、1952 年線文字 B(ミケーネ文字)の解読に成功
- ※ これらより古いキクラデス文明(新石器時代〜)も発見されている



- A クノッソス
- B ミケーネ
- C ティリンス
- D ピュロス
- E トロヤ